

鳥取市議会建設水道委員会会議録

会議年月日	令和5年6月29日（木曜日）		
開 会	午前9時59分	閉 会	午前11時13分
場 所	市役所本庁舎7階 第2委員会室		
出席委員 (8名)	委員長 勝田 鮮二 副委員長 加藤 茂樹 委 員 水口 誠 雲坂 衛 魚崎 勇 足立 考史 太田 縁 吉田 博幸		
欠席委員	なし		
委員外議員	金田 靖典		
事務局職員	庶務係主幹 石田久美子 議事係主事 田中 真一		
出席説明員	【都市整備部】 都市整備部長 岡 和弘 次長兼都市企画課長 牧野 隆史 都市企画課課長補佐 雁長 徹 交通政策課長 小森 毅彦 交通政策課課長補佐 宮谷 卓志 まちなか未来創造課長 筒井 真二 まちなか未来創造課課長補佐 河上 大輔 都市環境課長 徳田 剛 都市環境課課長補佐 藪下 昇 次長兼道路課長 田村 温 道路課課長補佐 田中 和人 次長兼建築指導課長 太田 忠孝 建築指導課参事 米原 和昭 建築指導課課長補佐 宮部 将 建築住宅課長 森田 健 建築住宅課課長補佐 田渕 聡 建築住宅課課長補佐 山崎 修 鳥取南地域工事事務所長 山田 泰弘 鳥取西地域工事事務所長 守山 信敏		
傍 聴 者	2人		
会議に付した事件	別紙のとおり		

午前9時59分 開会

【都市整備部】

◆勝田鮮二委員長 少し時間早いですけども、皆さん、おそろいのようにございますので、ただいまから建設水道委員会を開催いたします。

まず、本日の日程でございますが、水道局、下水道部は、審査、報告がございませんので、都市整備部の審査を行います。よろしくお願ひします。

初めに、都市整備部長に挨拶をいただいた後、審査に入りたいと思います。それでは、岡都

市整備部長、お願いします。

○岡 和弘都市整備部長 おはようございます。都市整備部長の岡です。今年は、異例に早い梅雨入り、5月ということでしたが、今日まで特に大雨もなく、ほっとしとるところですけども、この週末も雨が降るといような、警報が出る、警報が中ぐらいの可能性っていうのが、土曜日がなってますので、多分、1回も大雨が降らずに梅雨明けっていうのはないと思いますので、しっかりと対応していきたいと考えております。

今日、議案審議のほう、どうぞよろしく願いいたします。

◆勝田鮮二委員長 ありがとうございます。

それでは、審査に入ります前に、この場の皆様に一言申し上げます。まず、発言を行う際には、執行部の皆さんは、発言前に必ず所属・氏名を述べてから発言いただきますよう、お願いします。また、質疑及び答弁は簡潔にさせていただきますよう、執行部及び委員の皆様をお願いします。

議案第 65 号令和 5 年度鳥取市一般会計補正予算のうち所管に属する部分（質疑・討論・採決）

◆勝田鮮二委員長 それでは、議案第 65 号令和 5 年度鳥取市一般会計補正予算のうち、所管に属する部分、これは、先日の委員会において、執行部より説明をいただいております。

これより、質疑を行います。質疑のある方は、順次御発言ください。足立委員。

◆足立考史委員 おはようございます。足立です。この間頂いた資料の 6 ページのバス代替タクシー運賃補助金のところでお聞きしたいんですが、車両購入ということになってます。この車両の更新車両ということで、登録年数が平成 24 年 9 月、10 年過ぎてます。走行距離が、随分走っておられますが、コースとして 5 コースですね、表にあります。同じような年数で登録した車というのは、ほかにありますか。

◆勝田鮮二委員長 小森課長。

○小森毅彦交通政策課長 交通政策課の小森です。このたび更新をさせていただきますのは、資料のとおり、平成 24 年 9 月に導入した車両でございます、これが一番古い車両となります。市の所有しております車両ですけども、4 台ございまして、それを 3 路線で使っているということで、このたび更新をさせていただく車両は代車ということで、この 3 路線で使っている車両に不具合があった場合には、この車両を使って運行をしておりました。これが一番古い車両となりまして、その次に古いのが、平成 28 年 3 月に導入いたしました、雨滝・上地線で使っております車両、あとは、令和 2 年 2 月、令和 2 年 12 月に購入をした車両となっております、これは西郷線、神戸線で使っている車両で、これは比較的新しいという状況となっております。以上でございます。

◆勝田鮮二委員長 足立委員。

◆足立考史委員 予備車両ということですので、実際、この車が走れなくなっている状態で、不具合はなかったという理解でよろしいですか。

◆勝田鮮二委員長 小森課長。

○小森毅彦交通政策課長 交通政策課、小森です。状態といたしましては、運行できる機能とい

いますか、性能はあったんですけども、この4月に車検を受けましたところ、エンジンに不具合があるので、車検が通らないということの報告がありましたので、このたびは更新をさせていただくというものでございます。以上でございます。

◆勝田鮮二委員長 足立委員。

◆足立考史委員 今お聞きしたのは、これが、今、車検で走れなくなるということで、購入になるということの補正なんですけど、この走れなくなる、この4月の車検が通らないので、この5つの路線の台数、車の台数が不足して困ってないかという質問だったんですけど、もう一度お願いします。

◆勝田鮮二委員長 小森課長。

○小森毅彦交通政策課長 交通政策課、小森です。失礼しました。現在は、3路線で3台で運行しておりますので、現状は支障はございませんが、その3台のうち、1台でも故障が発生した場合には、代車がないという状態ですので、たちまち住民の方が交通手段に困られるという状態になりますので、このたび更新をさせていただくというものでございます。以上でございます。

◆勝田鮮二委員長 足立委員。

◆足立考史委員 そうしましたら、平成28年の3月の車が、今度予備車ということの理解でよろしいですか。

◆勝田鮮二委員長 小森課長。

○小森毅彦交通政策課長 交通政策課、小森です。そのとおりでございまして、このたび新しく購入をさせていただきましたら、次に古い、雨滝・上地線、平成28年3月に導入いたしました車両を予備車両、代車車両に回しまして、新しい車両は、雨滝・上地線のほうで運行するという計画でございます。以上でございます。

◆勝田鮮二委員長 足立委員。

◆足立考史委員 ありがとうございます。基本的に、この車の耐用年数なんですけど、走らなくなってから購入という手続が、これからも続くということで、ある程度、10年なり、年数がたてば、もう次の補正ではなくて、予算計上なりということで準備するということのほうがよいのではないかという思いでの質問なんですけど、その辺お聞かせください。

◆勝田鮮二委員長 小森課長。

○小森毅彦交通政策課長 交通政策課、小森です。年数、それから走行距離という基準を特に設けておるわけではないんですけども、今回のように、代車を常に持っておいて、何かその支障があったときには、その代車を使って、安定的に運行を継続していくということでございます。修理をしながら維持をさせていくということでございますけれども、なるべく安全に、支障がない範囲で、なるべく有効に使わせていただいて、その更新のタイミングというのを図っていききたいというふうに考えております。以上でございます。

◆勝田鮮二委員長 そのほかございますでしょうか。加藤副委員長。

◆加藤茂樹副委員長 加藤です。ちょっと同じく、そのバス代替えの分で、記載の自賠責保険料等、ちょっと重量税1万3,000、ハイエースが1万3,000でいけるんかいなと思いつつ、ちょ

つとこの内訳を教えてください。

◆勝田鮮二委員長 小森課長。

○小森毅彦交通政策課長 交通政策課、小森です。自動車重量税が1万3,000円、それから自賠責保険料が6万7,180円、そのほか、車両購入に伴います手数料6万8,620円という内訳となっております。以上でございます。

◆勝田鮮二委員長 加藤副委員長。

◆加藤茂樹副委員長 同じく、100円循環バスの車両購入、ちょっとこれも自賠等の内訳を教えてください。

◆勝田鮮二委員長 小森課長。

○小森毅彦交通政策課長 交通政策課、小森です。自賠責保険料6万7,180円、車両購入登録手数料、こちらが2万8,160円となっております。以上でございます。

◆勝田鮮二委員長 そのほかございますでしょうか。太田委員。

◆太田 縁委員 太田です。私のほうからは、概要書51ページの上段、駅前周辺にぎわい創出事業費ということで、これは、駅の再生基本計画を策定するということであるんですけども、まず、具体的なイメージが湧かないので、イメージをまとめようというところだとは考えているところですが、まずは、現在の問題点、駅前基本構想のほうに、たくさんの指摘があって、モデル事業をしたりとか、たくさんあるんですけども、現在の具体的な問題点を、まずは御説明いただけたらと思います。

◆勝田鮮二委員長 筒井課長。

○筒井真二まちなか未来創造課長 まちなか未来創造課の筒井です。駅周辺におきましては、様々な課題がある中で、特にバスターミナルですとか、あとは風紋広場ですとか、けやき広場ですとか、あとは中心市街地への通路でありますとか、そういった交通施設並びに通路ですとか、広場におきましては、整備の完了から約半世紀以上が経過する中で、老朽化の問題でありましたり、中心市街地へのバリアフリーの回遊性の確保でありましたり、そういったところが一番の課題であるというふうに認識をしているところでございます。以上です。

◆勝田鮮二委員長 太田委員。

◆太田 縁委員 新聞等によりますと、複合施設であるとか、バスターミナルの改修だとか、どうしてもハード整備のほうに、建物を建てるというか、そちらのほうに目が向きがちなんですけれども、今の御説明だと、まずは、その回遊性、そして、駅前の利便性、使いやすさ、そういったことをまずは検討していきたいというふうに受け取れたんですけど、それでよろしいでしょうか。

◆勝田鮮二委員長 筒井課長。

○筒井真二まちなか未来創造課長 まちなか未来創造課の筒井です。当然、施設の老朽化というものも1つの大きな課題でございますので、そういった交通施設の在り方についても、当然、検討はしていくような考えでありますし、当然、そういった施設の再構築と併せて、人の回遊性っていうところも、大きな課題になりますので、そういったソフト面での課題解決に向けた検討も、併せてしていくというような考えであります。以上でございます。

◆勝田鮮二委員長 太田委員。

◆太田 縁委員 太田です。エリアについてなんですけれども、この鳥取駅周辺再生基本構想の中での駅のエリアというのが、南北のところを示されていますけれども、おおむねそのエリアというふうに考えたらよろしいでしょうか。

◆勝田鮮二委員長 筒井課長。

○筒井真二まちなか未来創造課長 まちなか未来創造課の筒井です。今回8月に、官民連携の検討会議を立ち上げまして、基本計画の策定を行っていくように進めていきますけども、その対象エリア、検討の対象エリアといたしましては、今回の基本構想の中の対象エリアの中の、特に鳥取駅の北口・南口エリアにスポットを当てたところで、対象範囲を検討していこうかというふうな考えをしております。こういった対象エリアの考え方につきましては、5月の29日に立ち上げました、庁内での駅周辺の再生の特別部会におきまして、今後、検討していく予定としております。以上でございます。

◆勝田鮮二委員長 太田委員。

◆太田 縁委員 いつも申し上げている、駅の南北をつないでいくっていうことが、一番難しい、そして、大きな課題だというふうに考えていますので、その部分はしっかり議論していただけるということになろうかと思えます。

次に、構成メンバーについてなんですけれども、今お話があったように、メンバーで、県を交えてということでしたけれども、大体人数はどれぐらい、ここに詳細の構成メンバーは書いてありますけれども、規模はどれぐらいで考えておられるのか、お示してください。

◆勝田鮮二委員長 筒井課長。

○筒井真二まちなか未来創造課長 まちなか未来創造課の筒井です。補正予算の計上につきましては、10名程度ということで計上はさせていただいてございますけども、今、委員に就任いただく方へのアプローチをしている段階でございまして、それを踏まえると、大体14名～15名ぐらいの規模になるということで、今考えておるところでございます。以上です。

◆勝田鮮二委員長 太田委員。

◆太田 縁委員 あと、旅費というふうに記載がありましたけれど、そして視察というような項目があったと思います。具体的に、例えば先進地事例だとか、こういったところに視察を考えておられるのか、あるいは、参考にしていききたい事例があるのかなどお示してください。

◆勝田鮮二委員長 はい、筒井課長。

○筒井真二まちなか未来創造課長 まちなか未来創造課の筒井です。旅費につきまして、先進地視察の旅費を計上させていただいてございますけども、今現段階では、ちょっとまだ検討中というところございまして、これから委員に就任いただく専門家の委員の皆さんからアドバイスをいただきながら、候補地を選定していきたいというふうに考えております。予算の計上につきましては、まだ決まってはございませんので、東京の往復の旅費を確保させていただいたという考え方でございます。以上です。

◆勝田鮮二委員長 太田委員。

◆太田 縁委員 例えば、近いところでいきますと、姫路市が、最近ですね、駅のほうに大きな

バスターミナルを設けて、そして、車の動線を切り替えて、車が侵入できないところ、いわゆる歩行者優先の道路というふうなことを造って、大きな計画をされてはいたけれども、今、筒井課長のほうで、どこか、日本全国で構わないんですけれども、そういった鳥取市と規模が同じようで、例えば、私たちが、こういうところは、ぜひ参考になるよというふうなところがあれば、お示しいただけたらと思います。

◆勝田鮮二委員長 筒井課長。

○筒井真二まちなか未来創造課長 まちなか未来創造課の筒井です。今、全国でのこういった駅周辺の再開発に取り組んでおられる自治体のほうに、いろいろ調査をさせていただいております。その中で、参考にできそうかなというところが、周南市の徳山駅がございます。こちらの徳山駅につきましては、委員さん御存じだとは思いますが、駅舎の中に市立図書館を導入をされまして、かなりのにぎわい創出につながったという成果も上げられておりますので、この周南市の徳山駅ですとか、あとは、今回の鳥取駅周辺の再整備事業におきましては、国の直轄事業のバスタプロジェクトの導入を視野に入れて、取組を進めようとしております。こういったバスタプロジェクトの事業の決定をされてるような駅、中国管内ですと、呉駅が該当しますが、そういった呉駅での取組も参考にできるのかなというふうに考えております。以上でございます。

◆勝田鮮二委員長 太田委員。

◆太田 縁委員 この報告書ですね、3月末までにまとめられるのかなというふうに思っているところですが、4回の開催ということですので、一応、今の目標としては3月末でよろしいか、お伺いします。

◆勝田鮮二委員長 筒井課長。

○筒井真二まちなか未来創造課長 まちなか未来創造課の筒井です。御理解のとおりです。以上です。

◆勝田鮮二委員長 太田委員。

◆太田 縁委員 太田です。大変大きなプロジェクト、そして、おっしゃるように、50年たって、昭和53年からですかね、駅の高架が終わってから、随分年数がたっていると。もちろん、老朽化もあると。ただ、やっぱり現状を、せっかく整備した、例えば、沢井手公園の辺りだとか、そういったところの活用もしっかり視野に入れながら、御検討いただきたいと思っておりますし、もう1つ、一番大事なことが、ちょっと次に質問しようと思ってるんですが、結局、バスターミナルの再生であるとか、そういったことを考えるときに、やはり交通政策というか、公共交通を、どう担保を取っていくのかっていうところが、大きな肝といいますか、それなしには駅に人が集まらない、駅の乗降客数が増えなければ、駅に人は来ない。けれども、駅のにぎわいをつけたいから、何か施設をとということなんですけれども、やっぱりそういった基本的なところを、どういうふうに検討されていこうとしているのか、あるいは、今、共創型交通モデル事業もありますけれども、そういったものと、どう、こう関連していこうと。このモデル事業のほうも、2月までということですから、この検討結果も十分踏まえて、この計画にのせていけるのか、その辺の関連を、どう考えられるのかお伺いします。

◆勝田鮮二委員長 筒井課長。

○筒井真二まちなか未来創造課長 まちなか未来創造課の筒井です。今回の鳥取駅周辺の再整備に関しましては、特に重要な課題として、交通機能の強化っていうのが上げられると思います。その交通機能の強化におきましては、今後、持続的なまちづくりの観点におきましては、これからどんどん高齢化が進んでいく中で、公共交通の、やはり維持・確保っていうのが、今後の持続可能なまちづくりには、当然重要な課題になってきておりますので、今回の駅周辺の再整備の中におきましても、公共交通の利用しやすい環境、まさに交通機能の強化に向けた検討を、専門家の委員の皆さんに、その辺の御意見とかアドバイスを十分にいただきながら、進めていく必要があるのかなと思います。今回の補正で計上させていただいた交通関係の予算での取組も、十分に検証結果を反映していくような体制で、検討を進めていきたいというふうに考えております。以上です。

◆勝田鮮二委員長 太田委員。

◆太田 縁委員 太田です。専門家の意見、もちろん重要だと思います。ただ、やはり市民の声といいますか、現状いろんな声が、多分、私たち、委員のところにも届いていると思います。どの地域に対して、どういったバス路線がふさわしいのか、あるいは共創型のほうがいいのか、くる梨のようなものをもう少し増やしてほしいとか、そういった市民の声ですね、実現できるか、できないかは別として、やっぱりたくさんの意見をいただきながら、その委員会に反映していくっていうことが必要だと考えています。

そこで、委員長、せっかくですので、それぞれの、今、私たち委員が、地域の中で聞いておられる、その交通に対しての市民の声というのを、もしお持ちでしたら、この場で少しお伺いしたいので、委員間討議をさせていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

◆勝田鮮二委員長 それはちょっと、次回にしてほしいんですが。今日は、あくまでも審査のあれなので。

◆太田 縁委員 審査するまでに意見をいただけたらと思うんですけど。

◆勝田鮮二委員長 それは、今、急に言われても、すぐできるものでもないと思いますので。

それでは、ちょっと委員の皆さんに確認しますけども、今、太田委員のほうから、今回のこの鳥取駅周辺にぎわい創出事業の関係で、委員の皆様もいろいろな意見を持ってるんじゃないかということで、委員間討議をちょっと設けてほしいということがございました。いかがでしょうか、皆さん。では、魚崎委員。

◆魚崎 勇委員 今回の委員会は、審査することですのでね、そういう根本的なことに当たるようなことは、また別の機会ですべきだと僕は思いますよ。それぞれ持ってるわけですから。それ言い出したら収まりがつかみませんので、この審査のみにするべきだと思います。

◆勝田鮮二委員長 という意見ですが、そのほかの委員の皆さんはどうですか。足立委員。

◆足立考史委員 このたび出されたこの提案に対しての方向性を見極める材料として、いろんな意見を聞きたいという太田委員さんの趣旨だと思うんですが、その中で、皆さんが、これまで、市民の方から、そのにぎわい創出だとか、車だとか、何か意見なりを聞いているものがあれば聞きたいということで、それは、執行部のほうにとっても重要な資料になると思うので、僅かな

時間だと思うので、意見のある方は出していただいたらいいのではないかと思います。

- ◆勝田鮮二委員長 そのほかの委員の皆さんはどうですか。吉田委員は。
- ◆吉田博幸委員 それぞれの委員の方の意見を聞かれたらええじゃないですか。
- ◆勝田鮮二委員長 ほかの委員さんはどうですか。加藤副委員長。
- ◆加藤茂樹副委員長 もう時間も、こんなんしとつたらあれなんで、もう意見のある人だけが、発言して進めましょう。

（「はい」と呼ぶ者あり）

- ◆勝田鮮二委員長 じゃあ、委員間討議ということで、急に言われても、なかなか、たくさん頭の中に描いておられると思いますし、もしあれでしたら、また別の機会を設けて、執行部の皆さんと、主要な方とこの意見交換してもいいですけど、意見のある人はどうぞ。じゃあ、委員会討議というふうにしましょう。太田委員。
- ◆太田 縁委員 太田です。駅前のこの周辺にぎわい創出事業というのが、鳥取市にとって、大変大きなことだというふうに考えています。ですから、我々、この常任委員会が、しっかり意見を述べて議論したものを、執行部に聞いていただいて、そして予算の審査を。言えば、ここに書いてある、整備方針や整備イメージなどをまとめますと、じゃあ、それで予算を通してくださいって言われても、なかなかどういったことを、執行部さんがなさりたいのか、どんなまちづくりをしたいのかというのが具体的に見えにくいので、それが見えるようにしていただきたいという意味でお尋ねしています。そして、ほかの議員の方は、どういった御意見をお持ちなのかというところをお伺いしたいので、委員間討議を求めたところなんですけれども、御意見がある方があれば、ぜひ意見を言っていたいただきたいなと思って求めたところです。
- ◆勝田鮮二委員長 吉田委員。
- ◆吉田博幸委員 委員のメンバーを、10名から十四、五名ということを言われましたが。さっきも太田さんが言われたけども、その市民とか学生さんとか、利用される側の方の意見やあを尊重してほしいなと、そういうメンバーにしてほしいなあという思いです。
- ◆勝田鮮二委員長 そのほかの委員の方、足立委員。
- ◆足立考史委員 にぎわい創出の材料になるかどうか分かりませんが、北側と南側からいえば、南側の住民の方は、100円くる梨というものに対して、南にはないと、その辺の意見は耳にすることは多いです。
- ◆勝田鮮二委員長 そのほか意見のある委員さんは、発言をお願いします。

（「なし」と呼ぶ者あり）

- ◆勝田鮮二委員長 じゃあ、たくさんほかの質疑もあると思いますので、以上っていいですか、本当はもっとたくさんあるんでしょうけど、ちょっとこの場で言えない部分もあるかも分からないので、もし、そういう機会を設けるならば、また改めて、別の機会を設けてもいいですし、今出た意見も参考にさせていただきながら進めていただきたいと思います。じゃあ、委員会討議は終わります。

そのほか、質疑がございましたら、よろしくをお願いします。水口委員。

◆水口 誠委員 後先になるんですが、事業別概要書ですけども、49ページの上段です。共創型交通モデル事業費のところなんですが、事業内容が、交通・商業・医療・行政などの各事業所等で構成する組織を設立し、共創による新たな交通モデルの実証運行を実施するというので、1番目に、とっとり共創型交通協議会の設立、設立時期が令和5年7月予定ということで、これが年3回開催予定となっております。この3回の実証をすることで、この結論というのが出るのかどうか、お願いいたします。

◆勝田鮮二委員長 小森課長。

○小森毅彦交通政策課長 交通政策課の小森です。この協議会ですけども、来月7月に設立をいたしまして、3回程度の会議を持つということで考えております。

まず、第1回目に、その設立の会をさせていただきまして、秋から始まります実証運行の細部の部分ですね、詳細の調整を検討していくということをやっていききたいと思いますし、それから、実証が始まりましてから、いろいろ課題ですとか、出てくると思いますので、そういったところも、情報を基に、修正を加えながら実証運行をやっていくと。それから2月まで実証運行を行いまして、その後、その実証の結果の検証を行うという会議での3回を考えております。その全体の会議は3回ですけども、もっとコアメンバーといいますか、少ないメンバーで、実際、その運行に係る詳細な調整ですとか、運行に係る管理・運営、そういったところのミーティング的なものも持っていききたいというふうに考えております。以上でございます。

◆勝田鮮二委員長 水口委員。

◆水口 誠委員 ありがとうございます。その先の考えというか、構想はあるんでしょうか。

◆勝田鮮二委員長 小森課長。

○小森毅彦交通政策課長 交通政策課の小森です。来年の2月まで実証運行を行いまして、今年度末をめどに、この協議会において、検証ですとか、課題の整理を行うこととしております。その後は、課題を1つずつ解消しながら、来年度以降の本格導入に向けて、関係者と調整を行ってまいりたいというふうに考えております。以上でございます。

◆勝田鮮二委員長 水口委員。

◆水口 誠委員 ありがとうございます。それと、ちょっと聞いてみたいんですけど、これは何台ぐらいの車を想定されておりますでしょうか。

◆勝田鮮二委員長 小森課長。

○小森毅彦交通政策課長 交通政策課の小森です。10人乗り程度のワゴンタイプの車両2台が、常時運行するというものでございまして、通勤時間ですとか、そういう利用が多い時間帯につきましては、UD車両、タクシー事業者が持っております、UD車両も使って、最大3台で運行をしてまいりたいというふうに考えております。以上でございます。

◆勝田鮮二委員長 水口委員。

◆水口 誠委員 ありがとうございます。分かりました。

◆勝田鮮二委員長 そのほかございますか。加藤副委員長。

◆加藤茂樹副委員長 加藤です。ちょっと確認です。もう1回、100円循環バスですけど、これ、先回、去年だったっけ。日野の不正で生産中止になって、あれした分でしょうか。

◆勝田鮮二委員長 小森課長。

○小森毅彦交通政策課長 交通政策課の小森です。昨年度6月補正で予算を計上させていただきまして、日野ポンチョを導入する予定でございました。加藤委員の御指摘のように、日野自動車のほうの不正の事象がございまして、製造はしてございましたけども、台数の制限がかかっているということで、納車が実現しなかったという状況がございました。昨年度から、鳥取市は、製造会社の日野自動車に対しまして、ポンチョ購入の意向を示してございまして、本年度につきましては、優先的に納車をしていただけるものというふうに考えております。予算議決後は、速やかに入札を行いまして、早期に発注を行いまして、年度内の納車を目指してまいりたいというふうに考えております。以上でございます。

◆勝田鮮二委員長 加藤副委員長。

◆加藤茂樹副委員長 分かりました。ありがとうございます。それと、この100円循環ですけど、ちょっとちっちゃい声で言いますが、投資して、かなりの赤字も出とるんですけど、運行に当たって、100円を200円にするとかの考えってというのは、どんなもんなんですか。考虑的に。

◆勝田鮮二委員長 小森課長。

○小森毅彦交通政策課長 交通政策課の小森です。この100円循環バスくる梨ですけども、名前のおり100円循環バスということで、もう来年、本格運行を開始してから20年ということで、長く市民の皆様にあいさつされておりますので、ここは100円のままでいかせていただきたいというふうに考えてございまして、おっしゃるように、年々、その運行経費のほうもかさんでまいりまして、このコロナで収入が減少したということもございしますが、もう8,000万台の負担金額というふうになっております。

ちなみにですけども、松江市のほうも南北の循環線がございまして、松江のほうは、企業局のほうで、企業会計で行ってるわけなんですけれども、同じように8,000万円ぐらいの他会計からの繰入金もございまして、松江市は200円で運行をされておるところで、それを考えますと、非常に、くる梨は優秀な成績というふうに考えてございまして、以上でございます。

◆勝田鮮二委員長 そのほかございますか。太田委員。

◆太田 縁委員 太田です。概要書の48ページです。路線バスの高騰支援事業費についてです。これ、前回は申し上げたとは思いますが、国のほうからのコロナ克服・新時代開拓臨時交付金ということです。バス事業者さんのほうも、大変な状況であられるとは思いますが、どういった努力をされているのか、確認してほしいということでしたけれども、運転手不足等もおっしゃっていたと思っておりますけれども、具体的に、現在聞いておられる状況、克服に向けて、どういった取組をなさっているのか、あるいは、現状はどれぐらい厳しいのかというところをお示しいただいたらと思います。

◆勝田鮮二委員長 小森課長。

○小森毅彦交通政策課長 交通政策課、小森です。バス事業者につきましては、コロナで非常に打撃を受けてございまして、さらに物価の高騰、燃料費の高騰ということで、さらに経営が厳しい状況となっております。そういった中でも、市ですとか、関係機関からの支援金も受けながら、大幅な路線の廃止や減便、そういったこともなく、運賃の値上げも行うこともなく、

定時定路線をしっかりと継続をされておられまして、市民生活を支えてこられておられます。そういった中でも、歳出の抑制なんかも図っていかれながら、経営努力をされておられまして、そういった中でも、市としましては、そういう経営努力に対して、緊急支援金という形で支援をさせていただきながら、この路線の維持というのを図ってまいりたいというふうにご考えております。以上でございます。

◆勝田鮮二委員長 太田委員。

◆太田 縁委員 ということは、もうこの交付金がなければ、非常に継続が厳しいというふうにご受け取ってよろしいでしょうか。

◆勝田鮮二委員長 小森課長。

○小森毅彦交通政策課長 交通政策課の小森です。こういった緊急支援金があれば、非常に厳しい経営状況という状況でございます。以上でございます。

◆勝田鮮二委員長 太田委員。

◆太田 縁委員 国のほうの交付金がどれだけあるかっていうところも、今後続いていくのかということもありますので、ぜひ、事業者さんと、改善に向けては、しっかり取り組んでいただきたいと思います。

続けて、お伺いします。事業別概要 50 ページ上段になります。鳥取県東部地域M a a S協議会負担金のところですが、毎年、マイカー通勤促進事業費負担ということで、ノルデ運動、推進していただけますけれども、具体的に、このノルデ運動の効果というのを、どういうふうにご感じておられるのかお伺いします。

◆勝田鮮二委員長 小森課長。

○小森毅彦交通政策課長 交通政策課の小森です。ノルデ運動につきましては、従来、紙製のカードをお配りしまして、毎週金曜日、このカードを運転手さんに提示をさせていただきますと、路線バスの運賃が半額ということで、ずっとやってまいりましたけれども、だんだんマンネリ化といいますか、そういったこともあるかと思っておりますけれども、参加者も減少傾向にあるということもございますし、紙製のカードでやっておる関係で、なかなかデータが取りにくいということで、実際のノーマイカー通勤のその回数については、参加者からの報告という形で把握はしておりましたけれども、必ずしも正確な情報ではないということもございますので、このたびデジタル化をさせていただきますと、どういう目的で、いつ、どの路線に乗られて、どういう店舗なんか立ち寄られてっていうような情報も、しっかり取らせていただきまして、今後の路線の再編に生かしてもらいたいというふうにご考えております。以上でございます。

◆勝田鮮二委員長 太田委員。

◆太田 縁委員 やはりデータというのは重要だと思いますので、そういったところを、ぜひ生かしていただきたいと思っております。

もう1個、すみません。50 ページの下段になります。鉄道利用環境向上事業費です。サイクルポートを設置、このことについては、異論はないんですけれども、やはり公共工事の木質化推進ということがあります。あと、SDG sの観点からも、なかなかその費用面のことをいつもおっしゃるんですけれども、ぜひ、木質化等も検討していただきたいと思っておりますが、検討で

きますでしょうか。

◆勝田鮮二委員長 小森課長。

○小森毅彦交通政策課長 交通政策課、小森です。木製ですと、やはり維持の問題、維持管理の問題ということがございまして、やはり、大雪にも耐えられる耐質性もないといけませんし、何といたしますか、耐久性といたしますか、そういったものも必要だというふうに考えておりました、必ずしもコストだけの点を見て、こういった材質のものを導入するというわけではなくて、総合的に、いろんなその維持管理の問題も含めて、総合的に判断して、こういったサイクルポートを設置するというので、予算計上をさせていただいているものでございます。以上でございます。

◆勝田鮮二委員長 太田委員。

◆太田 縁委員 木質が弱いということはないと思いますので、維持管理も、最近、いろんなものがあります。もうできないというふうに決めておられるのでしょうかけれども、今後もあるかと思えます。何度も言います、SDGsの観点。なので、一度こういったものがあるのかというぐらいは検討していただいて、本当に、今、課長の頭の中で考えておられるだけでなく、実際、他都市の事例だとか、そういったことも見ながら、ぜひ検討はしていただきたいと思えます。以上です。

◆勝田鮮二委員長 意見でいいですか。

◆太田 縁委員 はい。

◆勝田鮮二委員長 そのほかございますでしょうか。加藤副委員長。

◆加藤茂樹副委員長 加藤です。今の鉄道利用のこの自転車置き場なんですけど、ここをちょこちょこ通ると、時期になったら、大学生が卒業と同時に、多分、置いたまんま帰ると思うんですよ。かなりの数、ここ、いつだかは、貼り紙っていうか、あって、今は大分減つとるみたいなんですけど、この辺り、駐輪場設置されてからの管理っていうか、不法自転車かどうかの確認っていうのは、どのようにされるんでしょうか。

◆勝田鮮二委員長 小森課長。

○小森毅彦交通政策課長 交通政策課、小森です。まず、現状を申し上げますと、やはり、加藤委員おっしゃるように、主に大学生だと思うんですけども、卒業と同時に、こういったところに置いていかれて、県外に行かれるというような方も結構いらっしゃるようでして、JRが、毎年、春、こういう放置自転車が多くなる傾向がありますので、毎年夏頃に、JRのほうで、放置自転車を特定しまして、それから撤去を行っているというのが、まず現状としてございます。

このたび、サイクルポートを設置することによりまして、定期的な見回りといいますか、そういったものは直営でやってまいりたいというふうに考えておりますが、その放置自転車の取扱いにつきましては、今後、JRと協議、調整をしてみたいというふうに考えております。以上でございます。

◆勝田鮮二委員長 加藤副委員長。

◆加藤茂樹副委員長 加藤です。ありがとうございます。分かりました。台数が96台収容と限ら

れてるんで、なるべく、本当で使われる方が置けるように、なるべくしっかりとした対応をお願いしておきます。

◆加藤茂樹副委員長 委員長、代わります。勝田委員長、どうぞ。

◆勝田鮮二委員長 先ほどの50ページ下段の鉄道利用の関係なんですけども、かなり風が吹くときは、自転車が倒れて、私もよく通る場所なんで、ほとんどが倒れちゃっててというようなことなんですけど、せっかく造るんであれば、倒れ防止みたいな、よく固定できるような、前輪のタイヤか、後ろのタイヤか。スタンドみたいなのがあるとは思いますが、せっかく新しく造るんであれば、何かそういった工夫も必要ではないかなと思いますけど、この資料の10ページ、前回頂いた10ページのイメージ図というのには、屋根と囲いみたいなのだらうと思うんですが、その辺りはどうでしょうか。

◆加藤茂樹副委員長 小森課長。

○小森毅彦交通政策課長 交通政策課、小森です。現在、野ざらしの状態ですので、かなり風を受けて倒れてるっていうのが現状かと思いますが、このたび、このサイクルポートを設置するんですけども、この風よけといいますか、ぐるりと囲ったような形のタイプのサイクルポートを設置しようと考えておりますので、この風での転倒っていうのは、影響は受けにくくなるのかなというふうに考えております。同じように、ほかの駅前の駐輪場なんかも参考にしておりますけれども、隣のその自転車が当たって、こう倒れるということは、よく目にいたしますけども、風で倒れるっていうのは、少なくとも、風の影響っていうのは、この囲いを設置したタイプの駐輪場、サイクルポートを設置することによって、あまり影響は受けなくなるのかなというふうに考えております。以上でございます。

◆加藤茂樹副委員長 勝田委員長。

◆勝田鮮二委員長 囲いをしたから倒れないというのは、ちょっといかがなものかなとは思いますが、私もちょっとよく通るところで、末恒の駅の南側に駐輪場がありまして、あそこは道路課の管轄かも分かんないんですけど、スタンドみたいなものがついたのが、たしか五、六台分ぐらい設置してあると思うんですが、試験的にされてるかどうか、分かりませんが、ちょっとその辺りの影響はどうなのか、ちょっと管理してるとこに聞きたいんですけども。

◆加藤茂樹副委員長 田村課長。

○田村 温次長兼道路課長 道路課、田村です。スタンドについては、鳥大駅前にも設置してありますが、実際、それを置いていると、確かに、最初のうちは、皆さん、きれいに止めていただけているという、いいメリットはあります。倒れにくいというメリットもありますけど、きれいに並ぶという、いいメリットもありますが、だんだん、そこ以外に、また押し込んでいくような、実際、鳥大駅前を見ていただければ分かると思うんですけど、スタンドが並んでるんですけど、それよりどんどん奥に押し込んでいって、最後は取り出すのに時間がかかるようになるデメリットもあるので、やはりちょっと利用形態を見ながらするのがいいのかなというふうには考えております。以上です。

◆加藤茂樹副委員長 勝田委員長。

◆勝田鮮二委員長 できるだけ利用者に配慮されたような施設を設置してほしいなという、これ

は要望にしておきます。

◆加藤茂樹副委員長 委員長を替わります。

◆勝田鮮二委員長 そのほかございますでしょうか。足立委員。

◆足立考史委員 足立です。事業別概要書48の上段の路線バスの1系統当たり100万円の補助金のことなんですけども、この事業経過及び背景ということで、コロナで乗客が少なくなったということで、コロナの交付金ということでしょうか、これが、この補正になった理由を、ひとつ教えていただけますか。

◆勝田鮮二委員長 小森課長。

○小森毅彦交通政策課長 交通政策課、小森です。今年の春に、国のほうが物価高騰対策ということで、総合経済対策を打ち出されたということがございまして、鳥取市としましても、これに呼応して予算計上させていただくということで、このタイミングにさせていただいております。以上でございます。

◆勝田鮮二委員長 足立委員。

◆足立考史委員 目的と効果なんですけども、事業所、運行事業者を支援するということでもあります。この補助金によって、このバスの路線が、この一時期だけ確保されるのか、この補助金の在り方が、先ほど、ほかの委員さんからも言われましたけど、ずっとこの考え方でいかれると、支援するために、この補助金というものが必要になってくるような気がするんですけど、そのような危機的な状態なのか、もし、範疇の中で分かれば教えていただけますか。

◆勝田鮮二委員長 小森課長。

○小森毅彦交通政策課長 交通政策課、小森です。この路線バス事業でございまして、非常に収益性の低い事業でございまして、従来は、コロナ前は、高速バスですとか、貸切りバス、こちらが収益が高い事業でございましたので、社内での内部補助といたしますか、それで路線バス事業が維持されていたという状況でございます。このコロナ以降につきましては、コロナも5類になったということで、大分、人流も活発になってまいりましたが、依然といたしましても、高速バス、貸切りバスにつきましては、コロナ前に比べまして、まだ50%~60%程度しか回復をしていないという状況になってございまして、この内部補助も期待ができないという状況でございます。

そういった中で、バス事業者も、収益がなかなか確保が難しい状況の中で、資金繰りに困られてるということで、金融機関からの借入れなんかをして、何とか回されてるというような状況でございまして、このたび、この緊急支援金で資金繰りを支援させていただくことで、安定的な運行管理のほうに集中させていただくという形で、路線バスを継続してまいりたいというふうに考えております。

おっしゃるように、こういった赤字補填というやり方が、本当にいいのかどうなのかということもございまして、やはり路線バスは、定時定路線での運行ですので、お客がいてもいなくても走らせるというような状況でございますので、利用者が少ない局面では、赤字補填額が増えていくという形になっております。

バス事業者といたしましても、運転手不足ということが深刻化になっておりますので、今の

状況を維持していくのは、非常に困難という状況になっている中で、市といたしましては、路線の再編をしていって、輸送量ですとか、必要な時間帯、そういったところにバスを集中をさせていただきまして、効率的な運行をしていただくことによりまして、財政支援っていうのも軽減を図っていきたいというふうに考えてございます。以上でございます。

◆勝田鮮二委員長 足立委員。

◆足立考史委員 一応、今の御答弁で理解いたしましたけど、今後のことの、やはり問題点もしっかり捉えて、十分協議をしていただけたらなというふうに思います。以上です。

◆勝田鮮二委員長 そのほかございますか。加藤副委員長。

◆加藤茂樹副委員長 ちょっとごめんなさい。教えてください。この東部地域のMa a S、この下に販売価格 800 円、クーポン利用で 300 円、販売価格 1,200 円、クーポン利用で 700 円、これ、どういうあれか教えてください。

◆勝田鮮二委員長 小森課長。

○小森毅彦交通政策課長 交通政策課の小森です。電子チケットを2種類で現在考えておりまして、1つは、東部の路線バス1日乗り放題と、協賛店舗のサービスが受けられるもの、それからもう1つは、それにプラスして、タクシー運賃の割引、1回ですけども、受けられるというもの、こういう2種類で、今考えておるところでございまして、まずは携帯電話のアプリを登録をしていただきまして、購入をしていただくということなんですけども、ノーマイカーデーについては、クーポンが利用できるということにさせていただきます、クーポンを利用されますと通常 800 円のところが 300 円、1,200 円のところが 700 円で購入をできるという、そういった仕組みとなっております。以上でございます。

◆勝田鮮二委員長 加藤副委員長。

◆加藤茂樹副委員長 そのクーポンっていうのは、結局、どこにどうなったらクーポンでしょう。

◆勝田鮮二委員長 小森課長。

○小森毅彦交通政策課長 交通政策課、小森です。携帯電話のアプリから入っていただきまして、チケットを購入していただくことになるんですけども、そこでクーポンを使うというところを選択をしていただきましたら、こういった割引の価格で購入ができるというものでございます。以上でございます。

◆勝田鮮二委員長 いいですか。そのほかございますでしょうか。足立委員。

◆足立考史委員 共創型交通モデル事業についてなんですけど、今協議されてまして、実証期間が10月からということになってますが、この運行に当たって、システムというものが入って、市民が利用されようとするとき、やはり広報が必要だと思うんです。あと、残された3か月の間に、この利用促進に向けてっていうか、実証実験でスタートするのに、期間的に準備ができて間に合うのかどうか、その点を教えてください。

◆勝田鮮二委員長 小森課長。

○小森毅彦交通政策課長 交通政策課、小森です。このたびの共創型モデル事業でございまして、これは、国交省の補助事業でございまして、現在、今月、国のほうに応募書類を提出をいたしまして、今審査を受けてるところでございまして。来月の10日辺り頃に、採択がされるかどうか

ってという結果が分かりそうだということで情報をいただいております。

まず、採択を受けてからという動き出しになってきます関係で、それ以降に協議会を設置をして、それから広報ですとか、事業の詳細について詰めていくという流れになってございます。採択を受けましたら、直ちに、7月中に協議会を立ち上げまして、その広報につきましては、美保地区・美保南地区が中心となるんですけども、そういった地域に出かけていきまして、住民の皆さんに集まっていたきまして、乗降ポイントというのを決めていただきます。乗降ポイントといいますのは、バス停に当たるものでございまして、仮想のバス停というイメージを持っていたらというふうに思いますが、この地域の中で、スーパーに行きたいですとか、ここの医療機関に行きたいですとか、ここの学習塾に送り迎えをしたいですとか、そういった意見ですとか、集会所の前で乗りたいなあとか、地区の公民館の前で乗れたらいいなっていうような、そういった声を基に、乗降ポイントを設置をしていく、そのポイントの間を、車両が運行するというイメージでございまして。

そういったワークショップを開きまして、住民の皆さんへの周知というのをしっかりやっていきたいと思いますし、その地域にお住まいでない方も、その地域で事業活動されておられる方もありますので、そういった方々にも広く、広報をやってまいりたいというふうに考えております。以上でございます。

◆勝田鮮二委員長 足立委員。

◆足立考史委員 ありがとうございます。利用される対象の方の見込みとございますか、高齢者とか、一応、買物だとかというようなことと、病院とかありますと、年代的に高い方、高齢の方のシステム利用の仕方を十分広報して、分かりやすく説明してあげて、使いやすい状況を整えていただくことをお願いいたします。以上です。

◆勝田鮮二委員長 そのほかございますでしょうか。足立委員。

◆足立考史委員 足立です。事業別概要書53の上段の除雪費についてですが、この今書いてある金額は、仮定としての、ある程度試算しての金額だと思んですが、先日ちょっとお伺いした、歩道との段差に、個人が違法で置いてある、傾斜がなくなるような、そういうものに対して撤去するよという広報があつて、お聞きしたところ、そこで何かあつた場合は、その持ち主の責務で、いろいろ事故なり、何かあつたら対処するというのを伺ったんですが、この除雪に関して、例えば車両だとか、何か事故があつた場合、やはりそういうものも個人に請求されるということになるんでしょうか。

◆勝田鮮二委員長 田村次長。

○田村 温次長兼道路課長 道路課、田村です。除雪に関しましても、乗り上げブロックを置かれてる方ところに、ちょうど除雪車が、ぱんと当たって、除雪車のほうが破損した場合は、その方のほうに言いに行って、補償していただくようにしています。以上です。

◆勝田鮮二委員長 足立委員。

◆足立考史委員 そうしますと、今、町内会で回覧とかされてると思うんですけど、また時期前になったら、その辺のことを徹底していただいて、やはり知らなかったでは済みませんし、大きな負担になって、どうしても住民さんのほうに負担が大きくなりますので、その辺も少し丁

寧に情報提供なりをしていただいで、除雪のほうをしていただけたらと思います。以上です。

◆勝田鮮二委員長 意見でいいですか。

◆足立考史委員 いいです。

◆勝田鮮二委員長 そのほかはございますでしょうか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆勝田鮮二委員長 それでは、以上で質疑を終結します。

それでは、討論に入ります。討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆勝田鮮二委員長 なしということで、討論なしと認め、討論を終結します。

それでは、これより、議案第65号令和5年度鳥取市一般会計補正予算のうち、所管に属する部分を採決します。本案に賛成の方は、挙手をお願いします。

〔賛成者挙手〕

◆勝田鮮二委員長 挙手全員と認め、本案は原案のとおり可決されました。

議案第86号市道の路線の廃止について（質疑・討論・採決）

◆勝田鮮二委員長 次に、議案第86号市道の路線の廃止について、先日の委員会において、執行部より説明をいただいております。

これより、質疑を行います。質疑のある方は、順次発言ください。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆勝田鮮二委員長 質疑なしと認め、質疑を終結します。

それでは、討論に入ります。討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆勝田鮮二委員長 討論なしと認め、討論を終結します。

それでは、これより、議案第86号市道の路線の廃止についてを採決します。本案に賛成の方は、挙手を願います。

〔賛成者挙手〕

◆勝田鮮二委員長 挙手全員と認め、本案は原案のとおり可決されました。

議案第87号専決処分事項の報告及び承認についてのうち所管に属する部分（質疑・討論・採決）

◆勝田鮮二委員長 次に、議案第87号専決処分事項の報告及び承認についてのうち、所管に属する部分は、先日の委員会において、執行部より説明をいただいております。

これより、質疑を行います。質疑のある方は、順次発言をお願いします。ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆勝田鮮二委員長 質疑なしと認め、質疑を終結します。

それでは、討論に入ります。討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆勝田鮮二委員長 討論なしと認め、討論を終結します。

これより、議案第87号専決処分事項の報告及び承認についてのうち、所管に属する部分を採決します。本案に賛成の方は、挙手をお願いします。

[賛成者挙手]

◆勝田鮮二委員長 挙手全員と認め、本案は承認すべきものと決定いたしました。

それでは、執行部の方は、退席をお願いします。

【その他】

委員会視察報告書について

◆勝田鮮二委員長 次に、委員会視察報告書についてでございます。本日、皆様のお手元に、委員会視察報告書の案を配付しております。配付しています案のとおり、議長に提出したいと思いますが、よろしいでしょうか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

◆勝田鮮二委員長 特に意見もないようでございますので、それでは、このとおり提出いたします。

それから、次に、議会だよりに掲載する視察報告の原稿案についても、皆様のお手元に配付しておりますので、どうでしょうか。これはちょっと文字数にも限りがありまして、各常任委員会で、160文字以内にまとめるというようなことで、一応、このようにさせていただいてます。

あと、写真を載せますけども、写真は、ある程度、その視察の出向いたとこの、特に今回は、まちづくり、歴史まちづくりなどで、その風景の辺りの写真が幾つかありますので、その中で、委員長・副委員長のほうで抜粋したものを載せたいと思います。だから、議場でも撮りましたけど、あれは載せなくて、現地に行った、町並み、そういうのも撮ってますので、その辺りからちょっと選んで載せたいと思いますので、御理解をお願いします。

（「はい」と呼ぶ者あり）

◆勝田鮮二委員長 それでは、議会だよりのほうもこれでいきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

それでは、以上で終わります。

午前11時13分 閉会

令和5年6月鳥取市議会定例会 建設水道委員会

令和5年6月29日(木) 10:00～
本庁舎7階 第2委員会室

都市整備部 (10:00～)

1. 議案(質疑・討論・採決)

議案第65号 令和5年度鳥取市一般会計補正予算(第2号)【所管に属する部分】

議案第86号 市道の路線の廃止について

議案第87号 専決処分事項の報告及び承認について【所管に属する部分】

その他 (都市整備部終了後)

・委員会視察報告書について